

初夏の晴天の休日、朝ゆっくり徳島を出発して八万町から国道438号を佐那河内へと車を進めてまいりました。まず目指すは「徳円寺のシャクナゲ群生地」です。道はところどころ狭いところもありますが、気をつけて運転すれば初心者でも通行できます。小さいですが道標も要所にあり、目的地へはスムーズに行けます。駐車場に車を止めて徳円寺へ向かいます。(写真①)

入り口を少し行くと道が険しくなり息切れする位です。上に上がって(写真②)シャクナゲの道(写真③④)へと足を運ぶと、シーズンは終わっていましたが、少々花は残っていました。(写真⑤) 帰り道にヒメジャラの道(写真⑥)もあり、少し早いようですがヒメジャラも咲いていました。

駐車場に帰り、次の目的地「大川原高原」方面へ、車を進めてまいりました。先ほどまでの道とは違い、よく整備されたきれいな道で快適な高原ドライブです。途中、沿道には風力発電の風車(写真⑦)が何本も並んでいて、下を通ると回転音が聞こえました。名物のソフトクリームを食べたりして少し休憩。たこ焼きやうどん、また屋上では高原の空気を満喫してのバーベキュー(2,500円)を楽しむことができます。徳島からここまで約2時間位です。一息ついたら旭ヶ丸の頂上を目指しての登山にチャレンジしてみてください。少し上がったところの景色は、眼下に徳島、鳴門、淡路方面が見え、また一連の風車も一望できます。

高原の鋭気を満喫した後、山を少々下り「佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター」へ立ち寄りしました。同所では山野の動植物の展示(写真⑧)を見たり自然観察に参加したりできるそうです。センターゾーンをはじめ、野鳥観察の森、昆虫・植物・水生動物等7ゾーンに分類された色々な体験ができるようになっております。子供さんやお孫さんと一緒に一日中ゆっくりと弁当を食べながら過ごすことができます。ぜひチャレンジを。





次は高山植物の宝庫「岳人の森」へと国道438号を走って行きました。国道とはいえ道幅は広くありません。約1時間位で国道193号線との分岐点につきます。標識で「那賀・土須峠」の方へ進んで下さい。左折するとすぐに「上分花の隠れ里」の看板が目に入ります。ここはつつじの名所として知られ(写真⑨⑩)満開時には多くの人が見物に来るようです(無料です)この後「岳人の森植物園」まではクネクネとした道を約30分位かかります。道路沿いにレストランがあり、そこで500円を払い上の駐車場で車を止め、順路に沿って園内を一周するようになっております。まずシャクナゲは今年は花が少ない裏年に当たると、例年より暖かいため花盛りは過ぎていましたが、そのまま進むとクリンソウ(写真⑪)やヒメシャガが咲いています。大きな岩もある広大な園内には四季それぞれの高山植物が花開くそうです。さっと通るだけで30分以上かかります。運動不足の方には本日の行程は少々きついかもかもしれませんが山の自然を楽しんで下さい。行程は往復で約100kmです。

